

Ⅱ 保健総務

保健総務課

保健総務課は、企画調整庶務担当、動物衛生担当で組織され、庶務担当は、保健所の公有財産の管理、人事、文書、予算、会計、情報公開及び健康づくりに関する思想の普及・啓発等を行った。動物衛生担当は、狂犬病予防、動物の愛護・管理に係る事業を実施した。

1 広報活動・健康教育

(1) 広報活動

広報媒体の活用

市広報、タウン誌等を通じて事業の周知を図るほか、所内・所外にポスターを掲示するなどの広報活動を行った。

広報媒体の活用状況（表 1-1）

種 別	件 数	内 容
広報「はちおうじ」	54件	保健総務 18件 生活衛生 8件 保健対策 28件
タウン誌	6件	保健総務 4件 生活衛生 2件

ホームページ

保健所の事業案内、保健衛生情報、イベント情報をタイムリーに提供するためホームページによる情報提供に取り組んだ。

- ・ ホームページアドレス

http://www.city.hachioji.tokyo.jp/hoken_iryu/hachi_hokenjyo/index.html

- ・ Eメールアドレス

b073100@city.hachioji.tokyo.jp

(2) 健康教育

地域住民が保健衛生に関する理解と関心を高め、心身共に健康で楽しく日常生活を快適に過ごすために、業務を通じて健康教育を展開した。

保健指導や監視指導のほか、地域の実情をとらえ有効な視聴覚教材などを利用して、関係機関と連携しながら講習会などを行った。

健康教育実施状況（表 1-2）

区 分	総 数		会 場			
	回 数	参加人員 (延)	所 内		所 外	
			回数	参加人員 (延)	回数	参加人員 (延)
19 年 度 総 数	167件	8,151 名	84件	2,049名	83件	6,102名
20 年 度 総 数	200	10,786	105	2,906	95	7,880
感 染 症	56	3,496	32	634	24	2,862
(再掲) エイズ	(30)	(1,816)	(20)	(230)	(7)	(1,586)
精 神	5	100	1	20	4	80
難 病	2	60	—	—	2	60
ア レ ル ギ ー	—	—	—	—	—	—
成 人 ・ 老 人	—	—	—	—	—	—
栄 養 ・ 健 康 増 進	29	2,131	21	787	8	1,344
歯 科	15	363	7	215	8	148
医 事 ・ 薬 事	3	238	—	—	3	238
食 品	75	3,548	36	959	39	2,589
環 境	15	850	8	291	7	559
そ の 他	—	—	—	—	—	—

(3) ビデオフィルムの活用

当所所有のビデオフィルムは、講習会等所内利用を図るとともに学校や老人福祉施設等への貸出も行った。

ビデオフィルム等の地域への貸出状況（表 1-3）

区 分	医 薬	環 境 衛 生	食 品 衛 生	歯 科	栄 養	運 動	健 康 づ くり	介 護 ・ 療 養	精 神 保 健	エ イ ズ	思 春 期	出 産 ・ 育 児	救 急	感 染 症	S T D	骨 粗 しょう 症	そ の 他	合 計
数	10	1	6	—	6	—	6	—	—	8	—	3	—	—	—	—	1	41巻

2 研修・教育

(1) 実習生等指導

公衆衛生関係の人材の確保と保健医療福祉関係者の公衆衛生についての関心を深めるため、医学生等に対して下表のような指導内容を実施した。保健所事業以外の市町村業務についても市に事業見学等の協力を依頼し、対人サービスの理解を深めた。

平成20年度実習生等指導状況（表2-2）

対象	学校名	実施機関	指導人員	指導内容等
臨床研修医	東京医科大学八王子医療センター	平成20年5月～平成21年2月 (10か月間)	10名 (延べ102名)	保健所の各課業務の研修 (感染症・精神保健等)
保健師学生	杏林大学保健学部看護学科	6月2日～7月25日 (10日間)	20名 (延べ200名)	講義：地域保健活動の実際 見学：家庭訪問、デイケア、結核検診等
管理栄養士 実習指導	実践女子大学生活科学部食生活科学科管理栄養士専攻	6月2日～10月14日 (6日間)	4名 (延べ24名)	講義：保健所の各課及び保健栄養業務について 見学・実習：特定給食施設指導等

3 関係機関との連携

(1) 各種会議（平成20年度）

（表3-1）

会議名	開催日	対象	出席者数	開催場所	議事内容
保健所協議会	7月10日	保健所協議会委員 29名	25名	八王子市保健所	20年度八王子保健所事業実施状況 今後の保健所運営方針
南多摩地域保健医療協議会	7月10日	南多摩地域保健医療協議会委員35名	34名	南多摩保健所	旧地域保健医療推進プランの最終評価について 改定地域保健医療推進プラン策定の取組状況について H20課題別地域保健医療推進プランの実施について 南多摩健康危機管理対策について
	12月4日		35名	南多摩保健所	地域保健医療推進プラン改定作業の取組状況について 南多摩健康危機管理対策について
南多摩地域保健医療協議会・保健福祉部会	3月16日	南多摩地域保健医療協議会保健福祉部会委員 28名	22名	南多摩保健所	南多摩保健医療圏地域保健医療推進プランの今後のすすめ方について ①進行管理方法について②課題別地域保健医療推進プランについて③地域食育計画の推進について④心の健康づくりのための環境づくり事業について
南多摩地域保健医療協議会・生活環境部会	3月11日	南多摩地域保健医療協議会生活環境部会委員 16名	14名	南多摩保健所	南多摩保健医療圏地域保健医療推進プランについて ①改定プランの今後の進め方について②医薬品の販売制度に関する薬事法改正の概要③食の安全に関する最近の動向④高齢者福祉施設における加湿について
南多摩地域保健医療協議会・地域医療システム化推進部会	3月2日	南多摩地域保健医療協議会・地域医療システム化推進部会委員 35名	34名	南多摩保健所	南多摩保健医療圏地域保健医療推進プランの今後の進め方について ①進行管理方法について②医療安全支援センター実績について③南多摩保健医療圏脳卒中医療連携協議会報告
地域医療安全推進分科会	3月2日	病院管理者、看護管理者、地区三医師会、学識経験者、市、都保健所	34名	南多摩保健所	①南多摩保健所医療安全支援センター患者の声相談窓口の概要について ②「患者の声相談窓口」相談実績 ③「患者の声相談窓口」相談事例 ④医療安全支援センター事業について
南多摩健康危機管理対策協議会	12月25日	南多摩健康危機管理対策協議会委員 58名	46名	南多摩保健所	①20南多摩保健医療圏健康危機管理対策訓練（新型インフルエンザ発生時対応訓練）について ②新型インフルエンザ等感染症地域医療体制整備事業について ③新型インフルエンザ対策の最近の動向について ④南多摩保健医療圏健康危機管理対策の今後の予定について
食品衛生推進会議	7月18日	食品衛生推進委員 14名	13名	八王子市保健所	食品衛生に係る最近の動向 地域の食品衛生の向上等に関する提言及び情報交換
	3月27日		12名		食品衛生に係る最近の動向 地域の食品衛生の向上等に関する提言及び情報交換

会議名	開催日	対象	出席者数	開催場所	議事内容
感染症の診査に関する協議会	年49回	感染症の診査に関する協議会委員5名	各回5名	八王子市保健所	申請に基づき結核医療の適否について診査
大気汚染障害者認定審査会	年12回	大気汚染障害者認定審査会委員6名	各回6名	八王子市保健所	申請に基づきエックス線フィルムと書類にて適否を審査
地域精神保健福祉連絡協議会	7月30日	地域精神保健福祉連絡協議会委員18名	15名	八王子保健所	19年度精神保健福祉事業報告 20年度事業計画について 退院報告について うつ自殺対策について
保健栄養連絡会議	12月10日	市内関係団体、栄養関係者19名	18名	八王子保健所	各団体等の活動状況報告、地域保健福祉計画、食育の推進について
南多摩保健医療圏薬物乱用防止5市関係者連絡会	7月15日	薬物乱用防止地区協議会長、各市薬物乱用防止担当・事務局担当課長	16名	南多摩保健所	各市の活動について 不正けし・大麻の見分け方について

4 統計・調査

保健衛生行政を推進するための企画と実施上の指針として、また、行政効果を把握するための基礎資料として、次の統計及び調査を実施し管内の状況を把握するとともに、東京都を經由して厚生労働省に送付した。

(1) 人口動態統計

出生・死亡・死産・結婚・離婚の届出をもとに調査票を審査集計し、人口動態を把握するとともに地域健康指標として役立てた。

ア 食中毒統計

食品衛生対策のための基礎資料として、食品衛生法による食中毒の発生状況を把握した。

イ 地域保健事業報告

市の業務の把握と事業運営のための資料として作成し、都知事を經由して厚生労働省に提出した。

ウ 老人保健事業報告

老人保健法による保健事業（実施主体市町村）の実施状況を把握し、老人保健対策の効果的推進のための基礎資料を得るため、都知事を經由して厚生労働省に提出した。

(2) 厚生統計調査

国民保健の実態を知り、社会保障や厚生労働行政の基礎資料とするため、統計法、統計報告調整法に基づき、各種調査を実施した。平成20年度の管内実施状況は次のとおりである。

統計調査実施状況（表4-1）

調査名	目的	期日	対象
国民生活基礎調査	国民の保健・医療・福祉・年金等、国民生活の基礎的事項を調査して、厚生労働行政の企画及び立案の基礎資料とするとともに各種調査の調査客態を抽出するための親標本を設定する。	6月5日	5地区 290世帯

2008年社会保障・人口問題基本調査 (第4回全国家庭動向調査)	家族の構造や機能の変化、それに伴う子育てや高齢者の扶養・介護の実態及びその変化と要因などを正確に把握し、最近の家庭機能の実態や動向を明らかにすることにより、厚生行政の施策立案の基礎資料とする。	7月1日	2地区 123世帯
第7回21世紀成年者縦断調査	男女の結婚、出産、就業等の実態及び意識の経年変化の状況を継続的に観察することにより、少子化対策等厚生労働行政施策の企画立案、実施等のための基礎資料を得ることを目的とする。	11月5日	8地区 平成14年10月末時点で20～34歳であった者で、第6回調査において協力を得られた男女及びその配偶者
第4回中高年者縦断調査	団塊の世代を含む中高年世代を追跡して、その健康・就業・社会活動について、意識面・事実面の変化の過程を継続的に調査し、行動の変化や事象間の関連性等を把握することで、高齢者対策等厚生労働行政施策の企画、実施、評価のための基礎資料を得ることを目的とする。	11月5日	6地区 平成17年10月末時点で50～59歳であった男女を対象とし、第3回調査において協力を得られた者

5 情報公開

保健所企画調整庶務担当内に情報公開担当を置き、住民や関係機関からの公文書開示請求や照会、相談等を行った。

平成20年度の利用状況は、公文書公開129件、行政照会128件であった。

6 健康づくり

すべての市民が健康でいきいきと暮らしていけるよう、市民・各種団体と行政が協働で「はちおうじ健康づくり推進協議会」を発足し、色々なイベントを通して健康増進に関する正しい知識や情報の普及など、市民に健康的な生活様式や健康づくりを支援するまちづくりを推進した。

(1) 健康づくり事業

ア 市民健康の日「'08健康フェスタ」(H20.5.27開催)

毎年5月の第3日曜日を「市民健康の日」と定め、メイン会場では健康づくりを楽しみながら体験できるイベントを実施した。

(表6-1)

年度	参加団体	参加者数
19	41団体	6,500名
20	36団体	6,700名

イ 八王子いちよう祭りへの参加（H20. 11. 22・23 開催）

健康づくりに関する情報や市民健康の日のPRを行った。

（表 6－2）

年度	参加団体	参加者数
19	9 団体	5,640 名
20	10 団体	5,841 名

ウ 健康づくり活動発表会の開催（H21. 3. 1 開催）

地域の中で健康に役立つ、そんないきいきと活動している団体やグループの活動発表を通じて、地域の健康づくりの活性化を考えています。

（表 6－3）

年度	参加団体	参加者数
19	7 団体	182 名
20	11 団体	145 名

7 動物衛生

狂犬病予防のために、犬の登録及び狂犬病予防注射の実施に関する事業を実施した。

また、「人と動物との調和のとれた共生社会の実現に向けて」動物飼養にかかわる指導、相談、苦情対応及び犬・猫等の引取り、保護収容を実施した。

特に、飼い主のいない猫に関する問題に対応するための施策を重点課題として実施した。

犬の登録と狂犬病予防注射（表 7－1）

年度	鑑札交付数	年度末登録頭数	注射済票交付数
19	3,086	26,009	22,903
20	2,976	27,036	23,571

鑑札交付数:再交付及び交換を含む

注射済票交付数: 再交付を含む

犬の捕獲・収容及び犬・猫の引取り等（表 7－2）

年度	捕獲・収容頭数	引取り頭数				負傷動物収容頭数	返還頭数		譲渡頭数	
		飼い主から		拾得者から			犬	猫	犬	猫
		犬	猫	犬	猫					
19	33	52	89	101	432	40	86	0	10	3
20	36	24	61	119	485	33	85	0	53	32

動物による事故及び苦情件数（表 7 - 3）

年度	動物による事故				苦情相談等処理件数											
	犬		その他		犬						猫				その他	
	犬数	被害者数	動物数	被害者数	総数	放し飼い	汚物・汚水	悪臭	鳴き声	その他	総数	汚物・汚水	悪臭	鳴き声		その他
19	26	26	0	0	98	24	7	9	45	13	89	42	16	4	276	10
20	27	27	0	0	87	24	6	5	42	10	65	31	8	6	20	3

普及啓発事業実施回数（表 7 - 4）

年度	適正飼養講習会	動物教室	地域猫講演会	その他
19	2	2	2	2
20	3	2	1	3